

令和 2 年 2 月 25 日

< ワンポイント・レッスン (実践) >  
( ダイバージェンス )

ダイバージェンスとは、株価とオシレータ指標の動きの逆行を言い、株価が強さを維持しているのに、オシレータ指標が弱くなっている現象を指します。先行きマーケットが軟弱になることを示唆していると言われていました。逆に、株価がまだ低迷しているのに指標が上向いている場合もあります。先週 (2020 年 3 月 21 日が週末日付) の日経平均は、日々終値ベースで、高値 23,500 円 - 安値 23,200 円の小幅レンジ内の動き。少し遡ってみると、昨年 11 月 8 日 (週末日付) に 23,000 円台に乗せた後、24,000 円台 (それも 24,100 円に乗せることなく) が 2 回。この間 16 週間もありますから、「膠着状態」もいいところです。ちなみに TOPIX も同様、この間 1,730 ポイント台が 7 回となっていました。先週末にこの間の最高値を記録。今週は、TOPIX が続落して先行している弱気指標を追いかける形 (ダイバージェンス解消) となるか否か…要注目です。オシレータ系指標とは、一般に 0~100、-100~100 等のレンジ内を動くものを指しますが、ここでは騰落レシオにあてはめてみました。

( 9 週騰落レシオ・東証第一部 )

